

事業群評価調書（令和7年度実施）

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	福祉保健部 長寿社会課	中村 直輝
施策名	8 いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現	事業群関係課(室)	雇用労働政策課	
事業群名	① 高齢者の元気で生きがいのある暮らしと社会参加の促進	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	126,945

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)
平均寿命が大幅に伸びる中、元気な高齢者の方が増えてきていますが、今後も生き活きと暮らし続け健康寿命を延伸させることができるよう、本人の希望やライフスタイルに合った就業や社会参加の機会の拡大を図っていきます。

(取組項目)
i) 高齢者が気軽に相談できる窓口を設置し、経験やライフスタイルに応じた社会参加に関する相談支援を実施
ii) ボランティア活動等で活躍する高齢者の表彰や生活支援等の有償ボランティアの推進
iii) 市町を中心に、関係団体とのマッチングにより高齢者を社会参加につなげる仕組みづくり

事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標（年度）	(進捗状況の分析) 高齢者の社会参加の機運を醸成するため、スマホ講座など的高齢者のニーズに応じたミニセミナーを各市町と連携のうえ県内10市町において23回開催し、831名に参加いただくとともに、ワンストップ相談窓口の登録者156名に対し、情報提供などの支援を行った。 人口減少や少子高齢化が進行する中、地域活動を担う人材の確保が喫緊の課題となっているが、高齢者の社会参加は、自身の生きがいや健康増進につながるほか、地域における担い手確保においても有効である。 高齢者の社会参加を進めるには、身近な市町における積極的な働きかけが重要となるため、今後は、市町とより一層の連携を図りながら、市町の取組を支援し、高齢者の社会参加を促進するとともに、地域活動の担い手確保を図る。
	社会参加などについて幅広く相談できるワンストップ窓口を通じて社会参加につなげた件数	目標値①		520件	540件	560件	580件	600件	600件（R7）	
		実績値②	464件（H30）	157件	194件	331件	156件		進捗状況	
		達成率②／①		30%	35%	59%	26%		遅れ	

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和6年度事業内容及び実施状況 （令和7年度新規・補正事業は事業内容）	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和6年度事業の成果等
				R5実績	うち一般財源	人件費（参考）		主な指標	R5目標	R5実績	達成率	
				R6実績					R6目標	R6実績		
				R7計画					R7目標			
				事業実施の根拠法令等				事業対象				
				事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業		他の評価対象事業（公共、研究等）				
所管課(室)名												
取組項目 i ii iii	○	1	生涯現役促進支援事業	15,634	0	7,659	●事業内容 高齢者が生き生きと輝く生涯現役の社会づくりを目指し、高齢者の社会参加を支援する。 ●実施状況 社会参加に意欲のある高齢者が、気軽に相談できるワンストップ相談窓口を設置し、相談者の経歴やライフスタイルに沿った個別支援を行うとともに、高齢者の社会参加への意識を啓発するため、市町と連携したミニセミナーを県内各地で開催した。	【活動指標】 高齢者向けミニセミナー開催回数（回）	24	27	112%	●事業の成果 ・スマホ講座など高齢者のニーズに応じたミニセミナーを市町等と連携のうえ23回開催し、831名の参加者を得ることができた。ワンストップ相談窓口の登録者に対して情報提供などの支援を行った。 ●事業群の目標達成への寄与 ・セミナー開催による啓発や意識の醸成を行うとともに、高齢者のワンストップ相談窓口を設置、運営することで、高齢者自らの希望に応じた社会参加の推進に寄与した。
				10,615	0	7,884			24	23	95%	
								【成果指標】 ワンストップ相談窓口での登録者数（人）				
									375	331	88%	
			(R6終了)R2-6						375	156	41%	
			長寿社会課	—	—	—	県内の社会参加意欲のある元気な高齢者					

取組項目 i ii iii	○	2	いきいきシニア活躍促進事業（社会参加支援）	13,273	76	7,878	●事業内容 地域貢献活動（地域助け合い・ボランティア等）の担い手確保を図るため、人材育成講座の開催やセミナーの共催等により、高齢者の社会参加に向けた市町の取組を支援する。	【活動指標】 社会参加促進に向けたセミナー等の開催回数（回）	12			—
			（R7新規）R7-9	—				【成果指標】 新たに住民主体の助け合い活動を創出した市町数（市町）	11			
			長寿社会課	—	—	—	県内の高齢者					
取組項目 iii	3		明るい長寿社会づくり推進機構費	41,849	37,635	3,830	●事業内容 明るい長寿社会づくり推進機構（（公財）長崎県すこやか長寿財団）が実施する高齢者の生きがいと健康づくりに関する各種事業に対し助成を行い、高齢者の社会活動の振興を図る。	【活動指標】 高齢者スポーツ大会等の開催回数（回）	12	12	100%	●事業の成果 ・新型コロナウイルス感染症の影響により令和2・3年度は大会を中止したこと、また、重症化リスクが高い高齢者の活動自粛の影響等もあり、コロナ前と比較すると参加者数は減少しており目標値を達成することはできなかったが、参加者数は増加傾向にある。 ●事業群の目標達成への寄与 ・高齢者の参加機会の提供を通して、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりに寄与した。
				50,267	46,053	3,942			12	12	100%	
				49,687	45,473	3,939			12			
			長崎県明るい長寿社会づくり推進機構運営事業費等補助金実施要綱				●実施状況 （公財）長崎県すこやか長寿財団が行う、長崎県ねんりんピック事業やアクティブ・エイジングサポート事業等に対する助成を行った。	【成果指標】 参加者数（人）	6,000	4,334	72%	
			H3-						6,000	4,345	72%	
			長寿社会課	—	—	—	県内の高齢者		6,000			
	4		いきいきシニア活躍促進事業費（老人クラブ）	59,140	27,979	766	●事業内容 老人クラブ活動のさらなる活性化を図ることで、高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、国、市町とともに老人クラブ等が実施する事業を支援する。	【活動指標】 事業実施単位老人クラブ数（クラブ） ※中核市を除く	1,095	1,078	98%	●事業の成果 ・単位クラブ数・活動参加者数ともに減少したものの、全ての単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行ったことにより、老人クラブ活動の活性化が図られ、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、介護予防の推進及び社会参加が促進された。 ●事業群の目標達成への寄与 ・老人クラブ活動を通じた高齢者の生きがいづくり、健康づくり及び地域の支え合いの促進に寄与した。
				57,989	27,372	788			1,078	1,034	95%	
				60,297	27,203	788	●実施状況 単位老人クラブが行う老人クラブ事業、市町老人クラブ連合会が行う活動促進事業、健康づくり・介護予防支援事業及び地域支え合い事業、県老人クラブ連合会が行う活動推進事業及び若手高齢者組織化・活動支援事業について補助を行ったほか、人材育成のための研修を実施した。	【成果指標】 老人クラブ活動参加者数（人） ※中核市を除く	49,235	46,978	95%	
			高齢者在宅福祉事業費補助金実施要綱						46,978	43,591	92%	
			S38-						43,591			
			長寿社会課	—	—	—	単位老人クラブ、県・市町老人クラブ連合会（中核市を除く）					
	5		高齢者等雇用安定対策費	8,241	8,241	3,064	●事業内容 高齢者等の失業の防止、再就職の促進等、高齢者の雇用の安定を図る。	【活動指標】 高齢者雇用支援のつどいの参加者数（人）	110	66	60%	●事業の成果 ・高齢者雇用支援のつどいについて、令和5年度からオンライン参加を取り入れている。参加者数は目標には達していないが企業に対し、高齢者雇用に関する普及啓発を一定程度図ることができた。
				8,074	8,074	3,154	●実施状況 長崎県シルバー人材センター連合会に補助金を交付し、センターが行う高齢者の雇用の安定、就労を通じた社会参加の促進等に関する活動を支援した。		110	66	60%	
				8,245	8,245	3,152	高齢者雇用支援のつどいの開催等により、高齢者の継続就労、再就職、雇用の安定を図った。		110			
			高齢者等の雇用の安定等に関する法律第36条					【成果指標】 65歳までの継続雇用がある企業の比率（%）	100	99.7	99%	
			—						100	99.8	99%	
			雇用労働政策課	○	—	—	シルバー人材センター、県内企業		100			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 高齢者が気軽に相談できる窓口を設置し、経験やライフスタイルに応じた社会参加に関する相談支援を実施	
●実績の検証及び解決すべき課題 セミナーについては、各市町と連携のうえ県内10市町において23回開催し、831名の参加者を得ることができた。また、社会参加に関するワンストップ相談窓口である「ながさき生涯現役応援センター」の登録者に対し、情報提供などの支援は行ったが、高齢者から個別具体的な相談を受けることは少なく、マッチング支援は十分とは言えない状況にある。今後は、意欲が高まった高齢者をいかにして社会参加につなげていくかが課題である。	●課題解決に向けた方向性 高齢者の社会参加を進めていくうえで重要な役割を担う各市町の生活支援コーディネーターや就労的活動支援コーディネーター等による活動を支援するなど、住民に身近な市町における相談支援体制を強化し、社会参加の促進を図る。

ii ボランティア活動等で活躍する高齢者の表彰や生活支援等の有償ボランティアの推進	
<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>受賞団体の活動内容を県HPにおいて周知するとともに、「ながさき生涯現役応援センター」開催のセミナー内において、地域の身近なところで活躍している団体の活動の紹介を行い、ボランティア活動等に対する意識啓発を行った。今後は、意欲の高まった高齢者が、具体的なボランティア活動等につながるよう、市町（生活支援体制整備事業）や関係団体等と連携のうえ、取組を進めていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>ボランティア活動等に関する情報を発信することで、参加者の拡大や優良事例の横展開につなげるとともに、担い手の確保を図るため、「地域貢献活動実践講座」を実施。実施にあたっては、各市町の生活支援コーディネーター等と連携し、受講者を実際の活動につなげていく。</p>
iii 市町を中心に、関係団体とのマッチングにより高齢者を社会参加につなげる仕組みづくり	
<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>県及び市町が支援する老人クラブの会員数は年々減少し続けており、高齢者を社会参加につなげる仕組みづくりの進捗は十分ではない。老人クラブの会員数の増加を図り、活動を活性化させる必要があるとともに、老人クラブ以外の高齢者関係団体との高齢者活用のマッチングも課題である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>県老連、市町老連及び単位クラブが会員数の増加を図る取組を一体となって実施できるよう支援するとともに、退職者団体等老人クラブ以外の団体と連携した社会参加の仕組み作り等を推進する。</p>

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容	令和8年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i ii iii	○	2	いきいきシニア活躍促進事業（社会参加支援）	R7新規	②	高齢者の社会参加を促進するとともに、地域貢献活動の担い手確保を図るため、共催によるセミナー開催や各種情報の共有等により市町支援を強化するとともに、地域貢献活動の実践講座を開催する。 また、優れた活動を行う団体を表彰し、更なる活動の発展を促すとともに、県民に広報することで、参加者の拡大や優良事例の横展開につなげる。	改善
			(R7新規)R7-9 長寿社会課				
取組項目 iii		3	明るい長寿社会づくり推進機構費	シニア競技の普及を目的としたアクティブ・エイジングサポート事業（主に軽スポーツの普及活動）について、対象競技を見直し、地域内の実践リーダーを育成することで、新たな競技人口の拡大を図る。 また、「生きがい作品展」について、一般公開の期間を延長しより多くの方に来場してもらうことにより、出品数の増加を図る。	②	シニア競技の普及啓発を目的としたアクティブ・エイジングサポート事業の活動（主に軽スポーツの普及活動）を拡充し、競技人口の拡大を図る。 また、全国ねんりんピック大会への参加者数を増やすため、（公財）長崎県すこやか長寿財団と協議のうえ、ねんりんピック県大会の新競技種目の追加を検討する。	改善
			H3-				
			長寿社会課				
		4	いきいきシニア活躍促進事業費（老人クラブ）	高齢者の生きがいや健康づくり、地域支え合い活動等で重要な役割を果たしている老人クラブへの加入促進に当たり、「老人」という言葉に抵抗感を持たれる方もいるため、令和7年4月から導入した県老連の愛称「がんばらんばクラブ長崎」を全面的に押し出していく。令和7年度は広報用リーフレットの配布、第60回記念大会での周知に取り組む。	②	市町、市町老人クラブ連合会及び県老人クラブ連合会等と連携し、「いきいきシニア活躍応援事業」の積極的な活用を促していくとともに、時代に合った老人クラブの在り方の検討、次世代リーダー育成に向けた研修の充実等についても、引き続き効果的な取組を検討していく。	現状維持
			S38-				
			長寿社会課				
		5	高齢者等雇用安定対策費	—	⑧	高齢者等の雇用の安定に関する法律（国及び地方公共団体はシルバー人材センターの育成などに努める）に基づき、高齢者の意向に沿った就業機会を確保するため、「県シルバー人材センター連合会」に対し県が補助するとともに、シルバー人材センターが安定的な運営ができるよう国へ要望を行い、センターに対しては国の制度の活用について必要な支援を行う。	現状維持
			—				
			雇用労働政策課				

注：「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】	
①	視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
②	視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③	視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④	視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤	視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥	視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦	視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧	視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
⑨	視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩	その他の視点